

問3 次の文は、令和2年「人口動態統計」（厚生労働省）に関する記述である。適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 出生率は、人口千対6.8で、前年より低下した。
- 2 死亡率は人口千対7.0で、前年より上昇した。
- 3 新生児死亡率は、出生千対1.8であった。
- 4 0歳の死因順位の第1位は、「乳幼児突然死症候群」であった。
- 5 1～4歳の死因順位の第1位は、「悪性新生物<腫瘍>」であった。

問17 次の文は、「保育所における感染症対策ガイドライン（2018年改訂版）」（厚生労働省）に関する記述である。適切な記述の組み合わせを一つ選びなさい。

- A 感染症成立のための三大要因とは、「感染源」、「感染経路」及び「潜伏期間」をいう。
- B 飛沫感染する感染症が保育所内で流行することを防ぐことは容易ではないが、その流行を最小限に食い止めるためには、日常的に全員が「咳エチケット」を実施することが大切である。
- C 手洗い用の石けんとして、液体石けんは、水分含有量の少ない固形石けん比較して、保管時に不潔になりやすい。
- D 標準予防策とは、ヒトの血液、喀痰、尿、糞便等には感染性がないという前提で対応する方法である。
- E 保育中に感染症の疑いのある子どもに気付いたときには、医務室等の別室に移動させ、体温測定等により子どもの症状等を的確に把握し、体調の変化等について記録を行う。

（組み合わせ）

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B E
- 4 C D
- 5 D E

問21 次の【症例】を読んで、【設問】に答えなさい。

**【症例】**

4歳、男児。ある日、発熱（38.0℃）し、小さな紅色の発疹ができた。発疹は頭皮や顔面も拡がり、順次、水疱、膿疱へと変化し、2～3日で痂皮となっていた。1週間にわたって次々と新しい発疹ができ、紅色の発疹、水疱、膿疱、痂皮など、いろいろな段階の発疹が混在しており、強いかゆみがみられた。

**【設問】**

この患児の診断名を一つ選びなさい。

- 1 伝染性軟属腫
- 2 ヘルパンギーナ
- 3 突発性発疹
- 4 水痘
- 5 流行性耳下腺炎

問38 次のA～Eの記述のうち、精神医学的問題と起こりうる症状として適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- |   |         |       |       |
|---|---------|-------|-------|
| A | 解離性障害   | ————— | 健忘    |
| B | パニック障害  | ————— | 予期不安  |
| C | 起立性調節障害 | ————— | 多動    |
| D | 統合失調症   | ————— | 常同的行動 |
| E | 分離不安障害  | ————— | 身体症状  |

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	×	×
2	○	○	×	×	○
3	○	×	○	○	×
4	×	○	×	○	×
5	×	×	○	×	○

問47 次の文は、「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン【事故防止のための取組み】～施設・事業者向け～」（平成28年3月 内閣府等）における誤嚥ごえんの防止に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 手先を使う遊びには、子どもが歯を使って部品を外そうとすることがないように、部品が外れやすいものを使用する。
- B 子どもが、誤嚥につながる物（例：髪ゴムの飾り、キーホルダー、ビー玉や石など）を身につけている場合もあり、これらの除去については、保護者の意に反してでも実施する。
- C 過去に、誤嚥、窒息などの事故が起きた食材（例：白玉風のだんご、丸のままのミニトマト等）は、誤嚥を引き起こす可能性について保護者に説明し、使用しないことが望ましい。
- D 食事の前には、保護者から聞き取った内容も含めた当日の子どもの健康状態等について情報を共有する。
- E 子ども年齢月齢によらず、普段食べている食材が窒息につながる可能性があることを認識して、食事の介助及び観察をする。

（組み合わせ）

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	×	×
2	○	×	○	○	×
3	○	×	×	×	○
4	×	○	×	×	○
5	×	×	○	○	○